令和５年度

ぷくちょこだより

～　教育評価アンケート結果　～

令和６年2月29日
芦屋市立宮川幼稚園
園長　澁谷　倫子

皆様から回答いただきました「教育評価アンケート」結果について以下の通り、ご報告します。評価基準については次の通りです。

（A　よくあてまはる　B　あてはまる　Cあまりあてはまらない　D　全くあてはまらない
上段の数字は回答人数、下段は割合を示しています。回答率 100%です）

全体としては、①⑦⑫の３項目を除いてA及びBの回答が 100%の評価をいただきました。昨年度の結果と比較したところ、全 16 項目のうち６項目で A 評価率が上がっておりました。

特に、大項目Ⅱ「望ましい環境づくり」、Ⅲ「家庭や地域とのつながり」において昨年度より高い評価をいただきました。これも、保護者の皆様のご理解とご協力をいただき、園の教育内容について関心をもっていただいた結果であると大変有難く感じております。

ご回答の中で B 評価を多くいただいた項目や、改善すべき点については、次年度に向けて引き続き、全教職員で取り組んでまいります。

Ⅰ　日々の保育について

	A	B	C	D
① お子さんは幼稚園に喜んで通っていますか。	17 63%	9 33%	1 4%	0 0%
② お子さんは行事や遊びを通して成長していますか。	24 89%	3 11%	0 0%	0 0%
③ お子さんは挨拶や片付けなど基本的な生活習慣を身につけていますか。	7 26%	20 74%	0 0%	0 0%
④ お子さんは友達とのかかわりを深めていますか。	21 78%	6 22%	0 0%	0 0%
⑤ お子さんは自分から進んで行動する態度を身に付けていますか。	17 63%	10 37%	0 0%	0 0%
⑥ お子さんは様々な表現活動を楽しんでいますか。	24 89%	3 11%	0 0%	0 0%
⑦ お子さんは絵本に親しんでいますか。	14 52%	12 44%	1 4%	0 0%

【考察】

・評価が上がった項目として⑥表現活動　があげられます。アンケート直前に参観いただいた生活発表会において、子どもたちが友達と力を合わせたり、自分なりに劇の役を表現したりする

姿をご覧いただいたこともこの結果に反映されていると感じます。「表現活動」は園としても重要な活動に位置づけています。言葉や身体等で伸び伸びと表現する活動を今後も大切にしてまいります。

・評価が下がった項目としては③基本的な生活習慣　⑦絵本への親しみ　です。園生活においては遊んだ後の片付けや歯磨き等の生活習慣は年齢に応じて身についていると捉えていますが、家庭では子どもが自ら進んで行う姿にはまだ至っていない様子が感じられます。園と家庭とが両輪となり、自立に迎えるよう、工夫が必要であると認識しました。

・⑦絵本への親しみ　園では毎日絵本の読み聞かせをしています。預かり保育においても毎日、1～2 冊の絵本を読んでいます。年長組は芦屋市内の図書館に出かけ多くの絵本にふれたり、年少組は週に一度絵本の貸し出しを行っています。今後は園からおすすめの絵本を紹介する、親子で絵本に触れていただく機会をもつなど、子どもたちが絵本により親しみ、興味・関心が育まれるような工夫が必要だと感じています。

Ⅱ　望ましい環境づくりについて

	A	B	C	D
⑧ 幼稚園は子どもたちが心地よく過ごせる環境ですか。	２６ 96%	1 4%	0 0%	0 0%
⑨ 幼稚園は子どもたちの豊かな感性や気づきを育む環境ですか。	２６ 96%	1 4%	0 0%	0 0%

【考察】

・一年を通して季節の花が途切れることなく咲き続け、子どもたちの生活に彩りをもたらしていました。PTA 活動においてもその環境を生かし「押し花づくりイベント」を企画し、楽しい活動へ展開いただいたことは皆様ご記憶のことと存じます。教育ボランティアの野菜の先生からご指導をいただき、年間数十種類の野菜を育て収穫し、お味噌汁などにしていただく活動は意義深いものであると捉えています。

・自由記述欄に「園庭の果樹の木など、花から実がなり、収穫して、秋には落ち葉で遊ぶことができる自然環境がとても有り難い」、」「植物や野菜を育てたり、季節ごとの制作を通じて四季や日本の伝統行事を学んだり、家庭では教えることが難しいことを教えてもらっている」等のご意見をいただきました。幼児期に自然に触れることは、子どもの感性を大いに刺激し、新たな気づきを育むことにもつながります。今後も自然や環境作りを大切にしてまいります。

Ⅲ　家庭や地域とのつながりについて

	A	B	C	D
⑩ 行事等の参観を通して子どもの様子や幼稚園の取組が伝わってきますか。	27 100%	0 0%	0 0%	0 0%
⑪ 園だより、クラスだより、担任の話で子どもたちの様子が伝わってきますか。	24 89%	3 11%	0 0%	0 0%

⑫ 保育参観の時期や内容は適切ですか。	22 81%	4 15%	1 4%	0 0%
⑬ 幼稚園は家庭との連携を進めていますか。	22 81%	5 19%	0 0%	0 0%
⑭ 幼稚園は地域の人とのかかわりを進めていますか。	24 89%	3 11%	0 0%	0 0%

【考察】

- ⑩子どもの様子や幼稚園の取組が伝わっているか　の項目ではすべての方に A 評価をいただきました。日頃より行事当日だけでなく、その過程をお伝えしたいと思っております。そのすべてをお伝えすることはなかなか難しいのですが、子どもたちの姿から取組内容をご理解いただけたことを有り難く受け止めています。
- 自由記述欄に「毎日の帰りの際のお話や園のブログから、手に取るように子どもたちの様子がわかる」「行事や参観が程よくあり、子どもの成長を見ることができる」とありました。さらに「心や体の成長などを細かく伝えてもらえるので、こちらの方が気付かされることがある」「家ではこんなことに気をつけないといけないと気付かされている」とも記入いただきました。園とご家庭との連携の大切さを改めて感じています。
- ⑬の園と保護者との連携においては、「先生方が丁寧な指導を心がけていること伝わっている」「先生方全員が子どもに合わせた対応を理解して保育したり、どの先生に声をかけても子どもの様子を教えてもらえ、園全体で手厚く大切に保育してもらっている」「宮川幼稚園のよいところは園児たちのやりたいことや感じたことを否定せず、よい方向へ伸ばしてくれるところだと感じている」「主体性をはぐくむ保育をしている」「子どものことを考えて保育していることが伝わってくる」と評価いただきました。また「子ども一人ひとりのペースでの成功体験の積み重ねが自信につながり、家庭とともに取り組める幼児教育だと実感している」「先生達が教育に日々造詣を深め、研鑽を積んでいることが伝わり、どの子どもにも一生懸命真摯に向き合っている先生ばかりだと感じる」「今ではどんなことでも自分でする力を持てるようになった」と感想をお寄せいただきました。子ども一人ひとりを大切にすることは保育の基本です。全職員で子どもを育てる、という意識をこれからも大切にしていきたいと思っています。
- ⑭地域の人とのかかわり　では「地域の方々とのふれあいや教育委員会、近隣の小学校等との連携・協力で、子どもたちが伸び伸びと成長できる環境にある」「子ども一人ひとりを大切にしながら相手を思いやる気持ちや一緒にやっていく喜びも支えてもらっている」とありました。園として今後も「地域に開かれた園づくり」を継続し、子どもたちがいろいろな年齢層の人とふれあう喜びや楽しさを味わい、豊かな園生活が過ごせるよう工夫してまいります。
- 課題として、保護者参加のイベントが追加であった際、仕事などの理由で参加が難しい時があったり、諸行事の都合により降園時間が変更になり調整することが難しかったりしたとのご意見をいただきました。今後、変更時にはできるだけ早くお知らせするようにいたします。預かり保育について延長を 18：00 頃まで見てもらえるシステムになるといいなと思う　とのご意見もいただきました。

Ⅳ　健康な体づくりについて

	A	B	C	D
⑮ お子さんは自分から進んで体を動かして遊んでいますか。	２２ 81%	５ 19%	０ ０%	０ ０%
⑯ お子さんは以前より体力や運動機能が向上しましたか。	２２ 81%	５ 19%	０ ０%	０ ０%

【考察】

・体づくりにおいては「みやよう　ゆうえんち」やマラソンタイム、外遊びの時間の保障など、年間を通して体を動かして遊ぶことを教育課程に組み込んでおり、クラス単位ではなく、園の活動として実施しています。子どもたちの体の動きが、運動会後やその後の鬼ごっこの様子等から、体の使い方がわかり、当初できなかったことができるようになっていったり、柔軟性が養われていく姿を私たちも感じています。楽しく経験することを大切に継続してまいります。

・幼児期の子どもにとって「心と体」はつながっており、同時に発達していきます。体を伸び伸びと動かして遊ぶことで心を開放したり、自信をもったり、さらにやってみようという意欲が育ちます。体作りは今後も継続してまいります。

Ⅴ　教職員アンケートの結果について（自由表記より抜粋）

・年度当初に異年齢のペア活動を始めたことで、年長と年少がふれ合う機会が増え、普段から挨拶をするなど、互いに親しみを持って生活することができた。

・自然や生き物が好きな子どもが多く、子どもたちの気づきから遊びや活動を積み重ねたことはよかった。一人の子どものアイデアが周りの子どもに伝わり、クラス全体へ自然に広がることができたと感じる。

・環境づくりは園児数に応じた環境づくりや季節に応じた環境作りを模索した。計画的に行えるところがあってもよかったのではないかと感じている。

・園で見る子どもの姿とアンケートの結果と異なる姿の子どもがいる。子どもの思いをより理解して関わったり、保護者の方と話をしながらよりよい育ちを目指したいと思う。

・地域の方々や子ども会、新たな教育ボランティアの方と出会い、連携できたことはよかった

・小学校の体験給食や小学校ごっこ等、コロナ以前の幼小連携を復活させていただけたことはとても有り難かった。さらに、小中学校の先生達とともに学びの場を持てた意義はとても大きいと感じる。今後も公立園として隣接する地の利も生かし、さらなる接続を目指し、子どもの見通しをもった育ちを見据えて保育を進めていきたいと思う。

アンケートにてお寄せいただいた、たくさんの温かなご意見を受け止め、次年度に向け、よりよい保育の創造をめざして頑張ってまいります。ご協力ありがとうございました。